

2003年10月15日付処理結果報告書

GAZ-33027：トランスファの異音を分解不要で解消

セイド・トランスアフト有限責任会社・承認：社長R.S.クズネツォフ・機械設備保全責任者P.V.バルフチン
・処理実施：アルクティク・アフト有限責任会社（社長I.V.パヴロフ）
ムルマンスク（ロシア）・2003年10月15日付報告書、2組織の署名・押印

製品

XADOリバイタリザント（
摩擦面再生剤）
変速機・減速機用ゲル・1ユニット
につきチューブ1本

処理対象

GAZ-33027の
トランスファ
登録番号O472VR 51・通常運用
中の車両

文書の種類

処理結果
報告書
発注者・実施者の署名および押
印

機械類

処理前の状態

評価項目

自動車GAZ-33027、登録番
号O472VR 51

トランスファの運転中の異音

ユニットの運転中の異音：聴感評価

処理はユニットを分解せずに実施された。ゲルは変速機・減速機用の標準処理手順に従ってトランスファに注入された。

処理の効果

トランスファの騒音の解消、ユニットを分解せずに処理

課題と結果

段階

報告書の記載

処理の決定

「トランスファの異音の解消」

処理

トランスファ、XADO変速機・減速機用ゲル、チューブ1本

処理結果

「トランスファの運転中の異音が解消した」

異音は聴感により評価された。報告書に計測器による測定値の記載はない。結果は発注者および実施者の署名により確認されている。

処理結果報告書の結論

セイド・トランスアフト有限責任会社およびアルクティク・アフト有限責任会社の委員会は、「処理結果」の項に「トランスファの運転中の異音が解消した」と記録した。処理はまさに異音の解消を目的として指定されたものであり、XADO変速機・減速機用ゲルのチューブ1本で、ユニットを分解せず、車両の運用を停止せず、部品を交換せずに実施された。トランスファの異音は、かみ合い部および軸受の摩耗の兆候である。処理後にそれが消失したことは、ユニット内のすきまが縮小したことを意味する。報告書に計測器による騒音の測定はないため、本文書が示すのは効果の大きさではなく、事実そのものである。すなわち、処理前に異音を発していたユニットが処理後は静かに作動しており、この結論の下に2組織の署名がなされている。

XADO

© XADO。無断転載を禁ずる。

本結果は、通常運用条件下におけるGAZ-33027のトランスファに関するものである。他の機械類や、ユニットの状態が異なる場合には、結果が異なる可能性がある。報告書における異音の評価は定性的なものであり、計測器による測定は行われていない。2003年10月15日付報告書の原本は、署名・押印を含めて全文が公開されており、ダウンロードできる。